



2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月8日

上場会社名 オプテックスグループ株式会社
コード番号 6914 URL <https://www.optexgroup.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 達也

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務統括リーダー (氏名) 山脇 秀基

TEL 077-527-9861

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	41,036	1.4	4,019	24.1	4,453	28.6	3,400	24.8
2022年12月期第3四半期	40,468	18.9	5,295	38.8	6,239	48.8	4,520	53.1

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 4,965百万円 (16.3%) 2022年12月期第3四半期 5,929百万円 (61.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	95.73	94.98
2022年12月期第3四半期	127.26	126.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	66,066	43,404	65.1
2022年12月期	63,302	39,735	62.2

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 42,993百万円 2022年12月期 39,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		18.00		18.00	36.00
2023年12月期		20.00			
2023年12月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	4.0	6,500	3.1	6,900	2.0	5,000	5.2	140.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	37,735,784 株	2022年12月期	37,735,784 株
期末自己株式数	2023年12月期3Q	2,210,966 株	2022年12月期	2,210,820 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	35,524,886 株	2022年12月期3Q	35,524,057 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料につきましては、決算発表後一週間以内に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「ベンチャースピリット溢れる企業集団を目指す。」を企業理念とし、グループ本社の機能を充実することで、各事業会社の相互連携を強化し、グループ全体での間接コストを抑制して、利益成長を加速させることを経営方針としております。

本年度の重点施策として、成長分野への投資を集中させることによりグループ各社の事業展開スピードを加速させるとともに、調達・製造・製品企画など様々な領域で、グループ各社の事業連携の強化を目指しております。

当第3四半期連結累計期間は、世界的なインフレ継続や中国経済の減速など、景気先行きの不透明感から国内外の顧客で投資を控える動きがありましたが、為替の円安効果により、売上高は410億36百万円と前年同期に比べ1.4%の増収となりました。利益面につきましては、コロナ禍の行動制限の緩和による営業・販売促進活動の強化及び為替の影響並びに国内外の物価上昇により、販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は40億19百万円（前年同期比24.1%減）、経常利益は44億53百万円（前年同期比28.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億円（前年同期比24.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① S S事業

S S事業は、売上高184億5百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は21億82百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

防犯関連は、売上高は128億79百万円（前年同期比7.7%増）となりました。海外ではインフレ及び金利高止まりによる顧客の在庫調整の影響を受け、欧米で屋外用センサーの販売が伸び悩みました。一方、国内では警備会社及び大型重要施設向けの販売が順調に推移した結果、前年同期実績を大幅に上回りました。

自動ドア関連は、景況悪化でヨーロッパの販売が伸び悩みましたが、国内及び米国向けの販売が堅調に推移した結果、売上高は41億1百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

② I A事業

I A事業は、売上高216億42百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は19億87百万円（前年同期比35.1%減）となりました。

F A関連は、ヨーロッパ向けの販売は堅調に推移したものの、中国で二次電池向けが低調に推移しました。また、国内では半導体関連の設備投資抑制や顧客の在庫調整の影響を受けて販売が伸び悩んだ結果、売上高は74億48百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

M V L関連は、国内では半導体、電気・電子部品向けの販売が、海外では中国向けの販売が伸び悩んだ結果、売上高は97億64百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

I P C関連は、半導体製造装置向けの販売が堅調に推移したことにより、売上高は31億32百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

M E C T関連は、二次電池製造装置の納入が順調に進んだことから、売上高は12億97百万円（前年同期比59.7%増）となりました。

③ E M S事業

E M S事業における外部顧客への売上高は、生産受託案件が伸び悩んだことにより5億58百万円（前年同期比14.9%減）となりました。営業利益は2億72百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は660億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億64百万円増加しました。

流動資産は510億71百万円となり、31億38百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が13億53百万円、受取手形及び売掛金が4億88百万円それぞれ減少したものの、原材料及び貯蔵品等の棚卸資産が45億39百万円増加したことによるものであります。

固定資産は149億95百万円となり、3億74百万円減少しました。これは主に、工具、器具及び備品等の有形固定資産が2億45百万円増加したものの、投資その他の資産が3億76百万円、償却等により顧客関係資産等の無形固定資産が2億44百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は226億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億4百万円減少しました。これは主に、長期借入金等の固定負債が24億78百万円増加したものの、短期借入金及び未払法人税等の流動負債が33億83百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は434億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億68百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が20億50百万円、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が15億62百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績見通しについては、2023年7月28日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,287	15,934
受取手形及び売掛金	12,221	11,732
有価証券	327	433
商品及び製品	5,782	6,967
仕掛品	1,952	3,377
原材料及び貯蔵品	8,513	10,443
未収還付法人税等	111	230
その他	1,802	2,008
貸倒引当金	△65	△55
流動資産合計	47,932	51,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,488	3,548
機械装置及び運搬具(純額)	394	388
工具、器具及び備品(純額)	830	963
土地	2,512	2,543
建設仮勘定	113	142
使用権資産	281	280
有形固定資産合計	7,621	7,867
無形固定資産		
特許権	278	215
商標権	336	281
顧客関係資産	488	371
のれん	987	1,007
その他	725	694
無形固定資産合計	2,815	2,571
投資その他の資産		
投資有価証券	2,144	1,763
長期貸付金	25	24
繰延税金資産	2,123	2,110
その他	1,069	689
貸倒引当金	△430	△31
投資その他の資産合計	4,932	4,556
固定資産合計	15,370	14,995
資産合計	63,302	66,066

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,165	3,126
短期借入金	8,926	4,924
1年内返済予定の長期借入金	708	1,809
未払金	1,381	1,168
未払法人税等	1,258	617
賞与引当金	1,117	1,048
その他	2,194	2,674
流動負債合計	18,752	15,369
固定負債		
長期借入金	1,247	3,704
繰延税金負債	655	649
再評価に係る繰延税金負債	22	22
退職給付に係る負債	1,436	1,485
役員退職慰労引当金	139	118
その他	1,313	1,311
固定負債合計	4,814	7,292
負債合計	23,567	22,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	7,579	7,579
利益剰余金	31,130	33,180
自己株式	△3,588	△3,588
株主資本合計	37,919	39,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△102	△73
土地再評価差額金	△5	△5
為替換算調整勘定	1,592	3,117
退職給付に係る調整累計額	△23	△14
その他の包括利益累計額合計	1,461	3,023
新株予約権	341	395
非支配株主持分	13	15
純資産合計	39,735	43,404
負債純資産合計	63,302	66,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	40,468	41,036
売上原価	19,575	20,116
売上総利益	20,892	20,920
販売費及び一般管理費	15,596	16,900
営業利益	5,295	4,019
営業外収益		
受取利息	18	71
受取配当金	12	16
投資有価証券売却益	18	57
投資事業組合運用益	7	19
為替差益	768	168
受取賃貸料	13	13
保険返戻金	45	5
持分法による投資利益	53	38
補助金収入	18	31
その他	49	87
営業外収益合計	1,005	507
営業外費用		
支払利息	39	47
賃貸費用	7	7
その他	14	18
営業外費用合計	61	73
経常利益	6,239	4,453
特別利益		
固定資産売却益	8	7
貸倒引当金戻入額	-	329
特別利益合計	8	336
特別損失		
固定資産除売却損	4	3
特別損失合計	4	3
税金等調整前四半期純利益	6,243	4,786
法人税、住民税及び事業税	1,801	1,396
法人税等調整額	△80	△11
法人税等合計	1,721	1,385
四半期純利益	4,521	3,401
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,520	3,400

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	4,521	3,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	28
為替換算調整勘定	1,503	1,527
退職給付に係る調整額	14	8
その他の包括利益合計	1,407	1,564
四半期包括利益	5,929	4,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,926	4,963
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	IA事業	EMS事業	計				
売上高								
防犯関連	11,956	—	—	11,956	—	11,956	—	11,956
自動ドア関連	3,890	—	—	3,890	—	3,890	—	3,890
FA関連	—	8,364	—	8,364	—	8,364	—	8,364
MVL関連	—	9,885	—	9,885	—	9,885	—	9,885
IPC関連	—	2,971	—	2,971	—	2,971	—	2,971
MECT関連	—	812	—	812	—	812	—	812
その他	1,492	—	656	2,148	437	2,586	—	2,586
顧客との契約から生じる収益	17,339	22,034	656	40,030	437	40,468	—	40,468
外部顧客への売上高	17,339	22,034	656	40,030	437	40,468	—	40,468
セグメント間の内部売上高又は振替高	62	32	9,032	9,127	53	9,180	△9,180	—
計	17,402	22,066	9,689	49,158	490	49,649	△9,180	40,468
セグメント利益	2,293	3,062	318	5,674	25	5,700	△404	5,295

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ソフトウェア開発及び環境体験学習運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△404百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	IA事業	EMS事業	計				
売上高								
防犯関連	12,879	—	—	12,879	—	12,879	—	12,879
自動ドア関連	4,101	—	—	4,101	—	4,101	—	4,101
FA関連	—	7,448	—	7,448	—	7,448	—	7,448
MVL関連	—	9,764	—	9,764	—	9,764	—	9,764
IPC関連	—	3,132	—	3,132	—	3,132	—	3,132
MECT関連	—	1,297	—	1,297	—	1,297	—	1,297
その他	1,425	—	558	1,983	429	2,413	—	2,413
顧客との契約か ら生じる収益	18,405	21,642	558	40,607	429	41,036	—	41,036
外部顧客への 売上高	18,405	21,642	558	40,607	429	41,036	—	41,036
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	82	22	9,704	9,809	59	9,868	△9,868	—
計	18,488	21,665	10,262	50,416	489	50,905	△9,868	41,036
セグメント利益	2,182	1,987	272	4,442	11	4,453	△434	4,019

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ソフトウェア開発及び環境体験学習運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△434百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない
全社費用が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。